

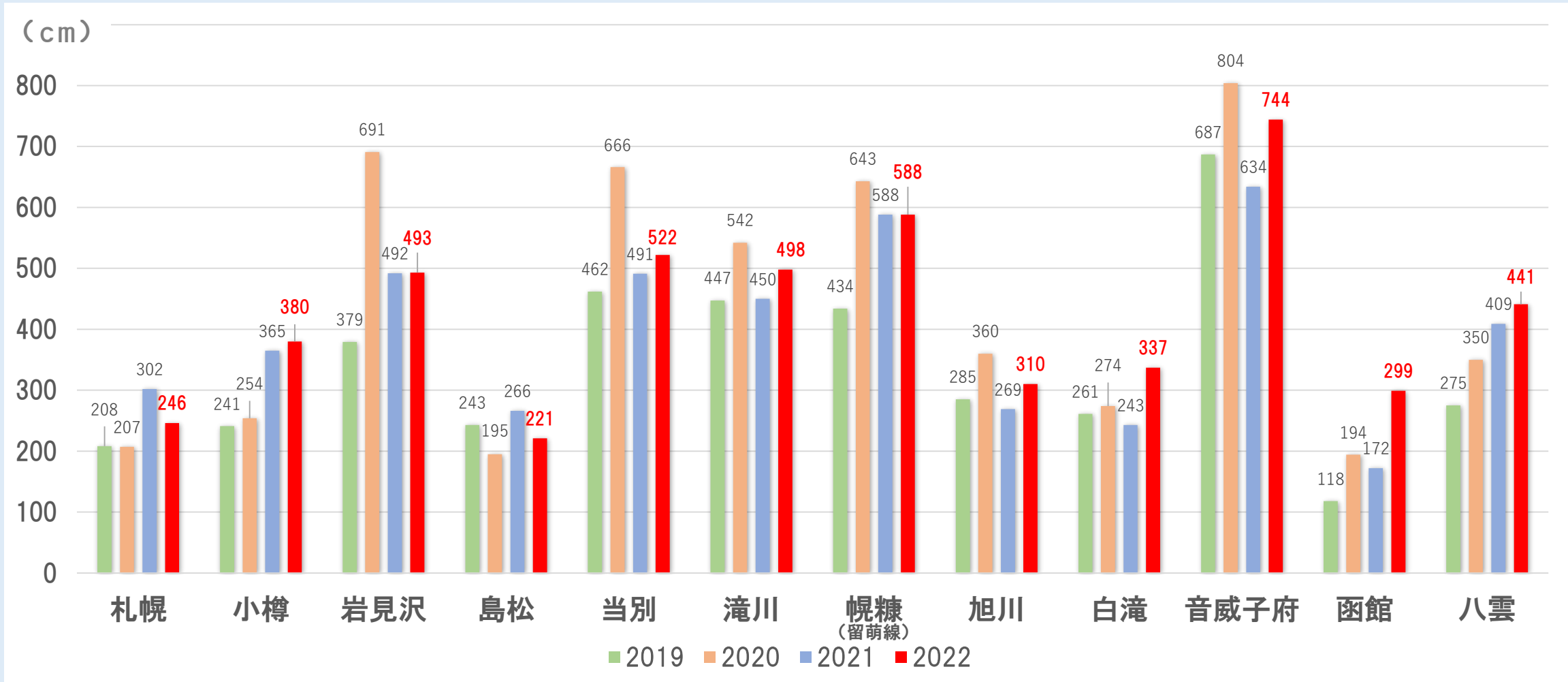
今冬期の降雪等による 列車運行への影響について

2023年2月15日



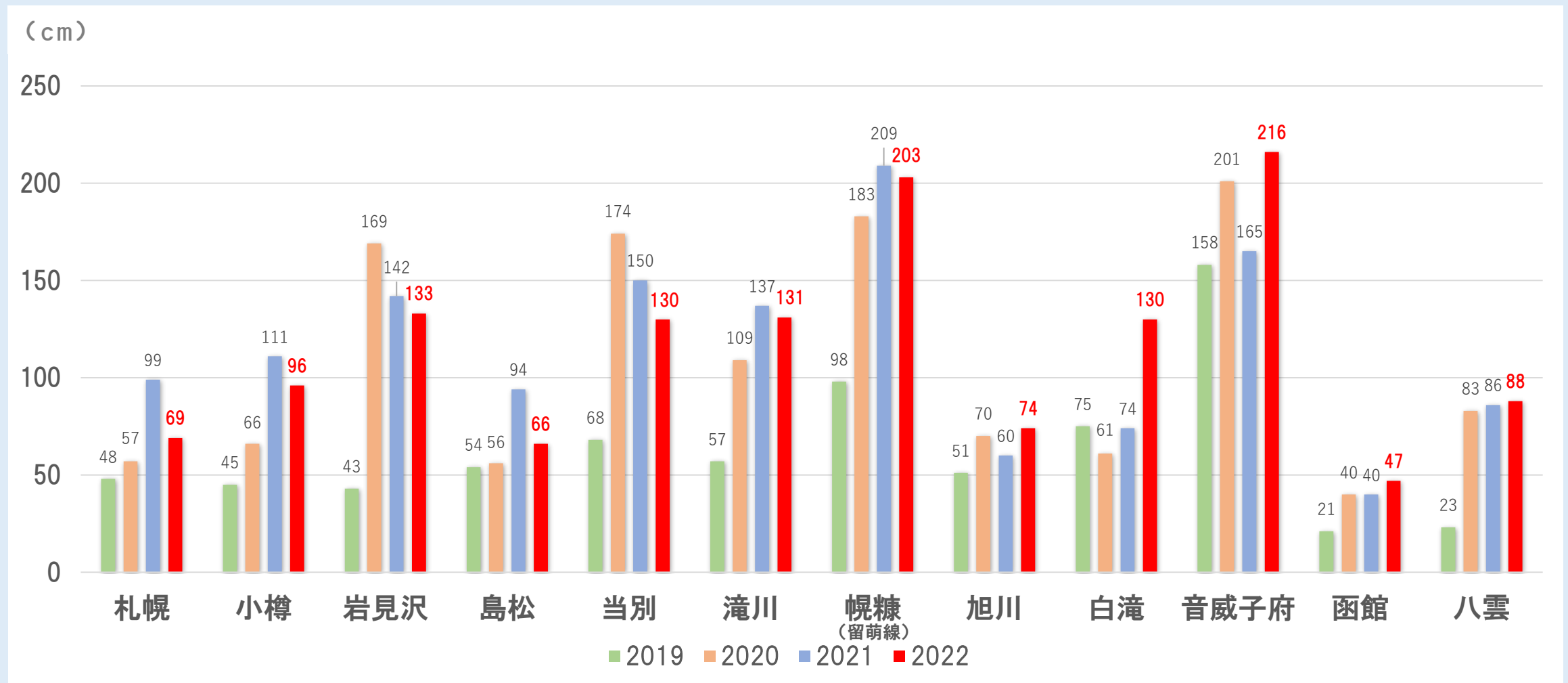
北海道旅客鉄道株式会社
HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

降雪量(2019年度～2022年度、同期間での比較)



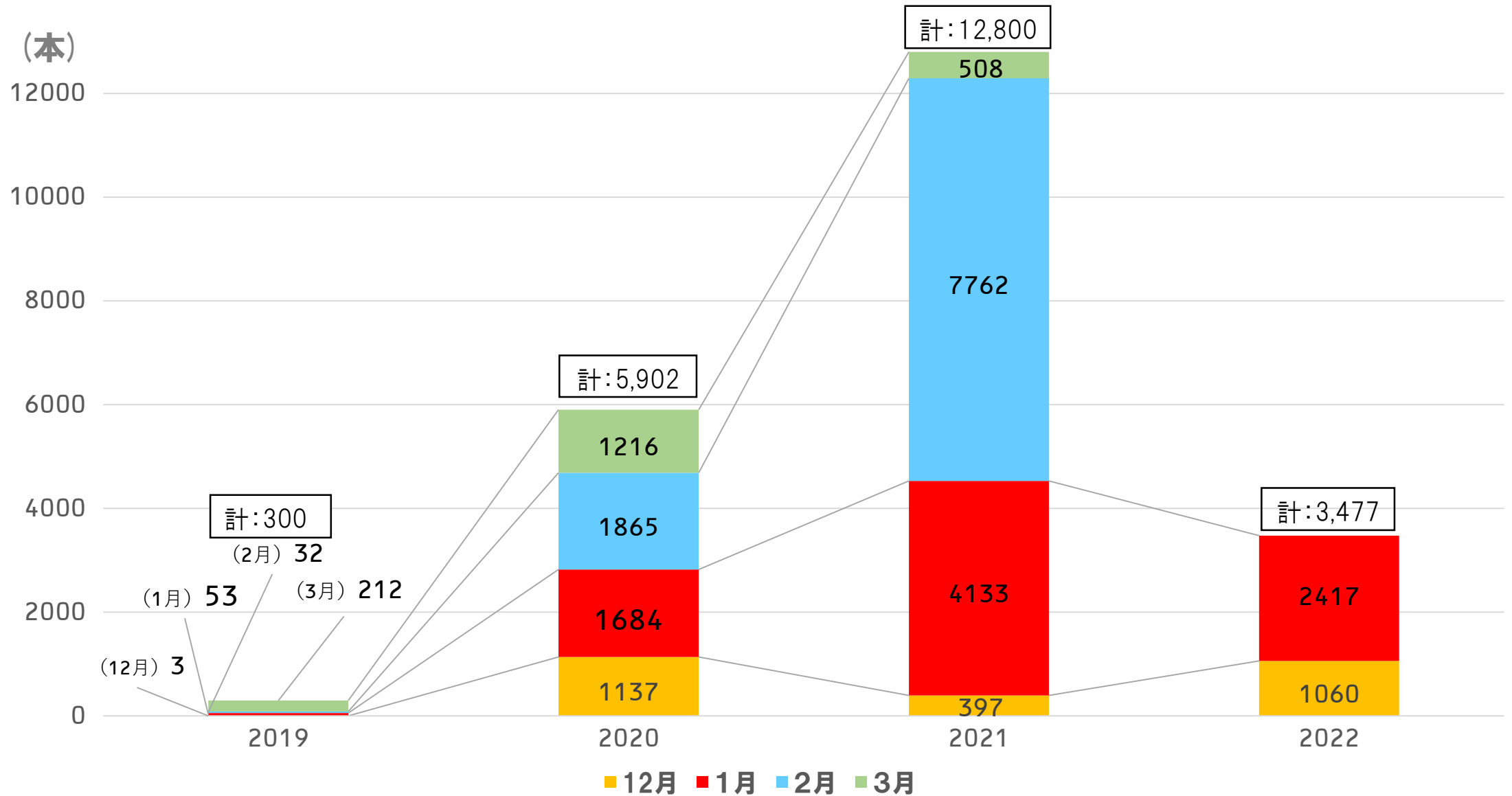
降り始めから2月4日までの累積降雪量
気象庁アメダスデータより(当別は新篠津の数値)

最大積雪深(2019年度～2022年度、同期間での比較)



降り始めから2月4日までのうち最大の積雪深
気象庁アメダスデータより(当別は新篠津の数値)

運休本数



1月25日の低気圧接近に伴う事象

日付	概要	運休本数	影響人員
1月25日 (水) ~ 1月26日 (木)	<p>発達した低気圧による降雪および記録的な低温に伴う輸送障害</p> <p>【主な事象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○函館線 朝里～銭函 高波による結氷で停電が発生した事象 ○函館線 江別～豊幌 雪害により駅間で列車が長時間停止した事象 	<p>862本 (特急61本含む)</p>	<p>約158,000名</p>
1月25日 (水)	<p>学園都市線 拓北～篠路 大野地街道踏切付近で乗用車と接触した事象</p>	<p>27本 (特急 0本)</p>	<p>約 7,000名</p>

1/25 朝里～銭函 高波による結氷で停電が発生した事象

- 日本海で高波が発生したため、函館線 朝里～銭函において、電車で電気を供給する電力設備に海水がかかり、低温により凍結したことで停電が発生。25日19時14分以降は復電の処置も不可能となり、電車の運転ができない状態となった。
- 電力設備の結氷が多数発生していたことから、天候の回復を待ち翌26日に除氷作業を実施、同日15時頃に小樽～ほしみ間の運転を再開



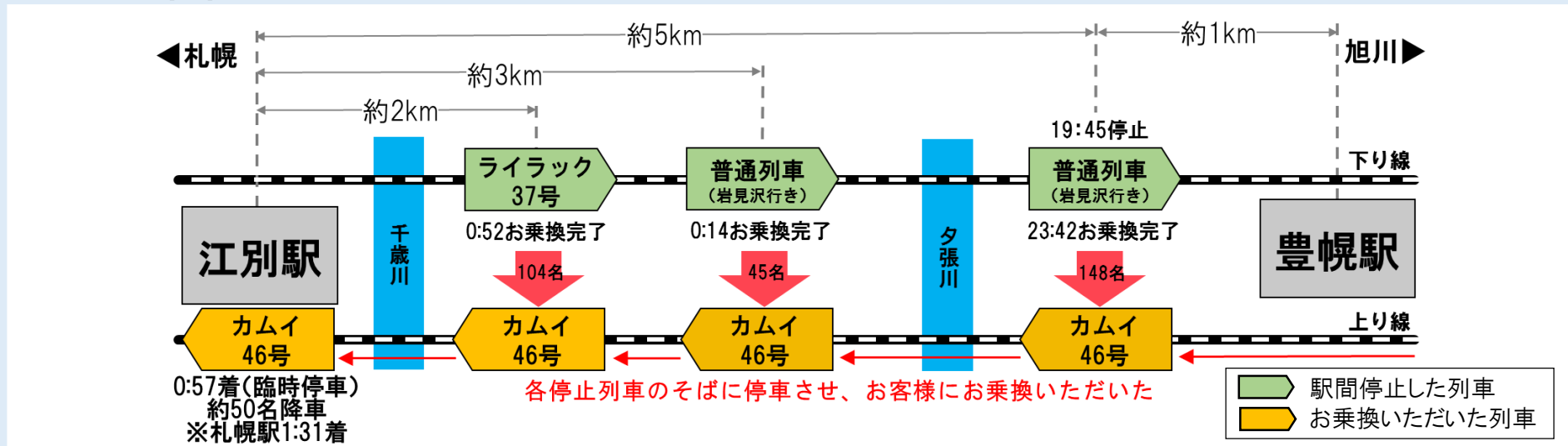
高波を受けた設備（朝里～銭函）



▲電力設備の結氷

1/25 江別～豊幌 雪害により駅間で長時間列車が停止した事象

- 19:45頃、函館線 江別～豊幌間の下り線を走行中の岩見沢行き普通列車が吹雪による視界不良で駅間に停止、その後ブレーキ装置の凍結によりその場から運転できない状態となった
- 後続の普通列車および特急ライラック37号が同駅間に進入しており、合計3本の列車が駅間に停止した
- 上り線の特急カムイ46号をそれぞれの列車のそばに停車させ、お客様にお乗り換えいただいた
- お客様のお乗り換え完了後、特急カムイ46号は札幌駅に向け運転再開、途中江別駅に臨時停車し、約50名が降車された
- 札幌駅では休憩用列車を用意し、特急カムイ46号から降車のお客様を含む86名が利用された
- 除雪作業等を実施して停止した3本の列車を移動させ、翌26日11:10頃に江別～岩見沢間が運転再開となった



1/25 拓北～篠路 大野地街道踏切付近で乗用車と接触した事象

- 19時15分頃、学園都市線 拓北～篠路間の大野地街道踏切付近で、乗用車と札幌行き普通列車が接触
- ご乗車のお客様(169名)に怪我はなく、警察の運転再開許可後に列車を拓北駅に戻し、バスにて札幌方面へご案内



2月1日～2日の低気圧接近に伴う札幌圏運転見合わせ

日付	輸送概況	運休本数	影響人員
2月1日 (水)	<ul style="list-style-type: none">○札幌圏 15時頃より間引き運転 20時頃より各方面運転見合わせ○特急列車 夕方以降の列車を中心に運休○その他線区にも運休・遅延が発生	257本 (うち特急19本)	約 18,000名
2月2日 (木)	<ul style="list-style-type: none">○札幌圏 10時頃より順次運転を再開○特急列車 午前中の列車を中心に運休○その他線区にも運休・遅延が発生	443本 (うち特急49本)	約 40,000名

2月1日～2日の低気圧接近に伴う札幌圏運転見合わせ

1日～2日の夜間に札幌圏で最大50cm程度の降雪および強風の予測

【見込の時点での情報提供】 (31日午前に実施)

1日夕方から列車に運休や遅延が発生する可能性があることをホームページ・twitterで告知したほか、関係機関にもその旨連絡

【積極的な情報収集と早めの運転手配】 気象予測をもとに、運転計画を早期に決定

・札幌圏各線区の最終列車を20時頃に繰り上げ(31日夕刻決定) ・2日10時頃からの運転再開(1日午前決定)

【お客様への情報提供】

- ・ホームページやtwitterでの情報発信
 - ※運休の見込み情報 HP:31日10:40 twitter:31日11:12
 - 最終列車の繰り上げ情報 HP:31日19:50 twitter:31日19:45
- ・「お客様基準」の情報発信(通勤・通学前に伝える)

【他の交通機関との連携】

- ・北海道エアポート(株)との情報共有
(ホットラインの設置、新千歳空港内情報共有システム[CDM]の活用)
- ・空港連絡バス会社への情報提供
(北海道中央バス(株)・北都交通(株)へ見込の時点で連絡)

【「札幌圏大雪警戒宣言」の発動】

- ・駅や乗務員からの情報収集強化(1日9:00～)

【関係機関への情報展開】

- ・北海道との情報共有 ・関係機関への運転計画告知

1日～2日の夜間に札幌圏で局地的に40cm程度の積雪を確認

運行継続していた場合、駅間での停止等の輸送障害が発生する恐れがあった
また、運転再開に向けては、札幌駅や小樽駅等で除雪作業を実施する必要があった

2月1日～2日の低気圧接近に伴う札幌圏運転見合わせ

予報

【降積雪】

○気象予報会社からの情報

(31日16:00、1日10:00に聞き取り)

函館線 倶知安～小樽～星置 40～50cm
星置～札幌 30～40cm

駅別予測 手稲駅:43cm(31日14:00)

※いずれも1日夜～2日朝の降雪量

※降雪のピークは1日18～24時および
2日3～9時

○札幌管区气象台予報(1日17:00)

石狩中部(札幌)・南部(千歳) 30～40cm

※1日夜～2日朝の降雪量

【強風】

○気象予報会社からの情報(1日夜～2日朝)

北海道内の最大瞬間風速25m/s

結果

【降積雪】

○降雪カメラ等の情報により、札幌圏の各駅等で、30～40cm程度の積雪を確認

※強風のため、札幌圏各地で局地的に吹き溜まりが発生

▶小樽・苗穂・厚別の各駅や札幌運転所(札幌市手稲区)では、積雪により一部の線路が一時使用できず

総合的に判断し
運休等を決定

【強風】

○札幌市の最大瞬間風速 24.9m/sを記録

(小樽:15.1m/s、恵庭18.4m/s)

2月1日～2日の低気圧接近に伴う札幌圏運転見合わせ



昨冬期の輸送障害を受けた改善策の活用

【早めの運転規制と運転計画の策定】

- 気象予報会社からの72時間先降雪予測システムを活用[実施中]
- 降雪カメラ・自動式積雪深計の情報を活用した除雪計画の策定[実施中]

【駅構内の「事前の除排雪の強化」】

- 1・2月の土曜夜～日曜朝にかけ、札幌圏で計画的に列車を運休して除雪作業時間を確保[実施中]
- 2月11日～12日まで計6回実施、札幌駅ではのべ約450名が作業にあたる

【お客様への情報提供】

- 除雪作業の進捗把握(GPSを内蔵した専用端末を搭載し活用)[実施中]
- 運行情報のリニューアル・twitterの自動配信を開始 [1/10実施]

【除排雪設備の強化】

- 除雪機械(排雪モーターカーロータリー)の増備・増強[令和4年度分導入済(2台)]
- 分岐器不転換対策の強化(マットヒーター・レールヒーターの増強) [導入済(4駅)]

【他の交通機関との連携】

- 北海道エアポート(株)との連携(ホットライン設置、CDMの活用等) [1月31日～2月1日に実施]
- 空港連絡バス会社(北海道中央バス・北都交通)への情報提供 [1月31日～2月1日に実施]

各取り組みは随時検証を行い、問題点は速やかに改善を目指します